

アジレントの Cobalt Insight シリーズによる 金属および非金属容器の内容物検査での 最小の誤報率



金属容器の内容物検査でクラス最高の性能を発揮する **Insight システム**

- 競合品と比較して最大 10 倍低い誤報率を実現
- スキャン時間は 5 秒以下
- 危険物を化学名により同定
- 内容物検査の最小容量は約 10 mL

クラス最高の性能

アジレントの Cobalt Insight シリーズは、液体、エアゾール、ジェル対応のボトル容器検査装置であり、ECAC スタンダード 3 のタイプ A およびタイプ B での使用に適合しています。独自の内容物検査技術により、金属容器以外の検知時には、危険物を物質名で日本語表示するとともに、金属容器内の危険物についても重量分析法により正確に検知します。Insight200M システムは、金属を含むすべての種類の容器で常に 2 % 未満の誤報率を実現します。このシステムでは、一般的に広く採用されている Insight100 シリーズのすべてのメリットを受け継いでいます。

Insight システムは、欧州最大規模の 10 空港のうち 8 空港を含む 70 以上の空港で採用されており、さらにアフリカ、アジア、オーストラリアにも展開されています。膨大な運用データから、非金属容器での誤報率は常に 1 % 未満であることが示されています。あらゆる Insight システムにおいて、ほぼ完璧な検出が可能です。残りの誤報についてはタイプ A の内容物検査キット (透明なガラスへの注入) によって解決することができるため、不透明容器での誤報の数は無視できるほど小さくなります (図 1)。

Insight システムの誤報率

Insight システムはタイプ A およびタイプ B の両方の使用に適合しており、検出、誤報率、速度、使いやすさの点において他社システムを上回っています。Insight システムはきわめて優れたスタンドアロンソリューションであるだけでなく、液体が手荷物内に保持されている場合の EDS CB C3 のような EDS 機内持込手荷物用システムや、タイプ C 機能の EDS CB C2 にも全面的に対応しています。

表 1. Insight100、Insight100M、または Insight200M システムにより内容物検査を実施した容器の誤報率

項目	動作モード		誤報率
	スキャン 1	スキャン 2	
非金属容器	タイプ B (Insight200M)	–	0.7 % ¹
すべての容器 (金属および非金属)	タイプ B (Insight200M)	–	2 % 未満 ¹
ボトル飲料水	タイプ B (Insight100)	–	約 0.02 % ²
すべての液体	タイプ A (Insight100M)	–	0.8 % 未満 ³
すべての容器 (金属および非金属)	タイプ C	タイプ B (Insight100M)	0.15 % ^{4,5}
すべての容器 (金属および非金属)	タイプ C	タイプ B およびタイプ A (Insight100M)	0.05 % 未満 ^{3,4,5}

¹ 欧州の複数の空港で得られた運用上の誤報率

² アジレントでさまざまなボトル飲料水に対して 12,000 回を超えるスキャンを実施した試験結果 (アジレント文献 5991-8872EN を参照)

³ タイプ A 機能に関する独立した試験

⁴ 金属および非金属容器の Ventress セットを用いた試験

⁵ LAG 第 1 段階前に実施した空港での実地試用試験

【お問い合わせ先】

本 Agilent ラマン製品に関する販売およびサポートは、双日エアロスペース株式会社に委託しております。
お問い合わせは双日エアロスペース株式会社までお願いいたします。

双日エアロスペース株式会社
航空宇宙・セキュリティ営業部第2課

電話番号：
03-6870-7222

お問い合わせフォーム：
<https://www.sojitz-aero.com/contact/jp/index.html>

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。
本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。



図 1. タイプ A 内容物検査キット

その他の詳細

アジレントでは、新システム導入用として Insight200M を提供しています。Insight100M は、既存の Insight100 システムに容易に追加することができます。購入またはアップグレードの詳細については、アジレントまたはお近くの代理店にお問い合わせください。